

現状

・どうやって伝える

問題点

町内に掲示の設置(自治会費)	・まち協メンバーとして ・さくらを守る会として	NPO法人さくらを守る会	直接市の担当課に行つて伝えている
自治役員が行政と市民の中間役の仕組みがない、自分で	市政懇談会を通して	アンケート調査	直接
自治会を通して			

①情報伝達

要望の伝達ルートが明確でない。はっきり示して欲しい	水害対策の要望(降雨の排水路の拡大)	水害対策。長い間事例が出る都度、当局にお願いして、ようやく解決
一般市民への情報提供をいかにするか	意見を伝える場や方法が少ない(昼の時間帯の会議等)	担当者が分かったと言っても1年間も実行がなかった

②理解・関心

まち協への未理解問題	仕事優先のため市への協力ができない市民が多い	新庁舎建設の説明会に市民の参加が少なかった(現在は定期的全世帯にチラシで周知)	まち協は一般市民には関心がない
同じことの繰り返しがおまじ	妥協策の方が進んでしまう	生活に根差した条例のため市民の一部に怠情発生危険	

・どのような場面

市政懇談会に出席	自治会の行事に参加	公園の遊具の故障修理	公園の藤棚の木及びさくらの木等の剪定
吉田まちづくり協議会の活動に参加	今までとの違い、改善に対する話し合い	道路補修	まつり
街路樹、公園の草取り及び粗大ごみ処理袋	防犯活動		

③意思決定について

町内全体に共通しない個人意見が受け入れられない	市政懇談会に提出する問題点は、町内全体に共通しないものは上げることができない	たった一人の市民意見は聞いてもらいづらい	具体的な話し合いがあまり好まれない
若い新人の意見が少ない、取り入れられていない	新人の意見がとり入れられにくい	過半数優先で物事が決まりすぎる	

・事例

町内側溝の泥上げ作業	クリーンデー燕(春・秋2回)	燕市防災訓練への参加
地場農産物の販路拡大	ゴミ拾い	

④自治会と行政との連携

市職員が自治会に話に来てほしい	市役所が自治会に話に来てほしい	自治会役員と行政のつながりがまばら	自治体主体から自治会主体への切り替えはどうする
-----------------	-----------------	-------------------	-------------------------

⑤行政による財政支援の不足 ○その他

万本さくらを目指しているが、補助金を減らされ、資金繰りが苦しい	市の財政悪化で補助金の削減でいろいろな面で不便を感じる	燕市防災訓練は、参加自治会が多いため、毎年参加できない
---------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

⑥連携

各団体がバラバラ	親子夫婦別居問題	町内班のつながりがとぼしい	商店街の衰退問題
----------	----------	---------------	----------

解決策



①情報伝達

メール等を上手く利用し、休日や時間外に相談を受ける部門を設置	イキイキまちづくり活動を手本としてNPO法人の情報や活動場所を作るにより市との一層の協働を図る	広報、各集会に出向き、前向きに宣伝する
--------------------------------	---	---------------------



②理解・関心

各町内の人が順番に検討会に参加する	まち協の改善、会議に一般参加を強く呼びかける	各自治会の活動を通して市の行事に参加を呼びかける	生活の質の向上を目指していることを強く明記する
-------------------	------------------------	--------------------------	-------------------------



③意思決定について

住民過半数意見よりも自治役員の議決決定権を優先させるよう明示する	個人意見も受け入れる仕組み、専門家相談への補助者を設置	現在の兄貴会では年配者が多いので新たに青年部会を設置
----------------------------------	-----------------------------	----------------------------



④自治会と行政との連携

市職員を交えて行う自治定例会を定期的に設置する	自治役員以外の行政対応の自治専門委員をつくる
-------------------------	------------------------



⑤行政による財政的サポート

行政による財政支援



⑥連携

中心市街地「まち協」を別枠な特殊なまちづくり地区と規定する	2ヶ月に1度くらいの町内班の定期寄合いの義務化	各団体に共治の仕組みをもたせるため政治・行政がつなぎ役を果たす	親の介護は子が第1責任者を明確表示
-------------------------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------